

ULVAC

【証券コード：6728】

第115回 定時株主総会

2019年9月27日
株式会社 アルバック

議事運営についての お願い

出席株主数 及び 議決権数のご報告

会計監査人の監査報告書（連結計算書類）

招集ご通知**56ページ**をご覧ください。

会計監査人の監査報告書（計算書類）

招集ご通知**57ページ**をご覧ください。

監査役会の監査報告書

招集ご通知**58～59ページ**をご覧ください。

第115期事業報告、連結計算書類 及び計算書類の内容のご報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

1. 企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果 ～経済の状況～

▶ 日本

輸出や生産の一部に弱さもみられるものの、設備投資が増加するなど、緩やかに回復してきました。

▶ 米国

個人消費や設備投資の増加などにより、景気の回復が続いてきました。

① 事業の経過及び成果 ～経済の状況～

▶ 欧州

消費が緩やかに増加するなど、景気は緩やかに回復してきました。

▶ 中国

各種政策効果もあり、景気の持ち直しの動きが続いてきましたが、このところ消費、輸出の伸びが低下するなど緩やかに減速してきました。

■ エレクトロニクス市場

- データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリメーカーの設備投資が継続してきましたが、足元では需要の鈍化等により新規設備投資延期の動きが出ております。
- しかしながら、中長期的にはスマート社会の進展に向けた投資が活発化するものとみられます。

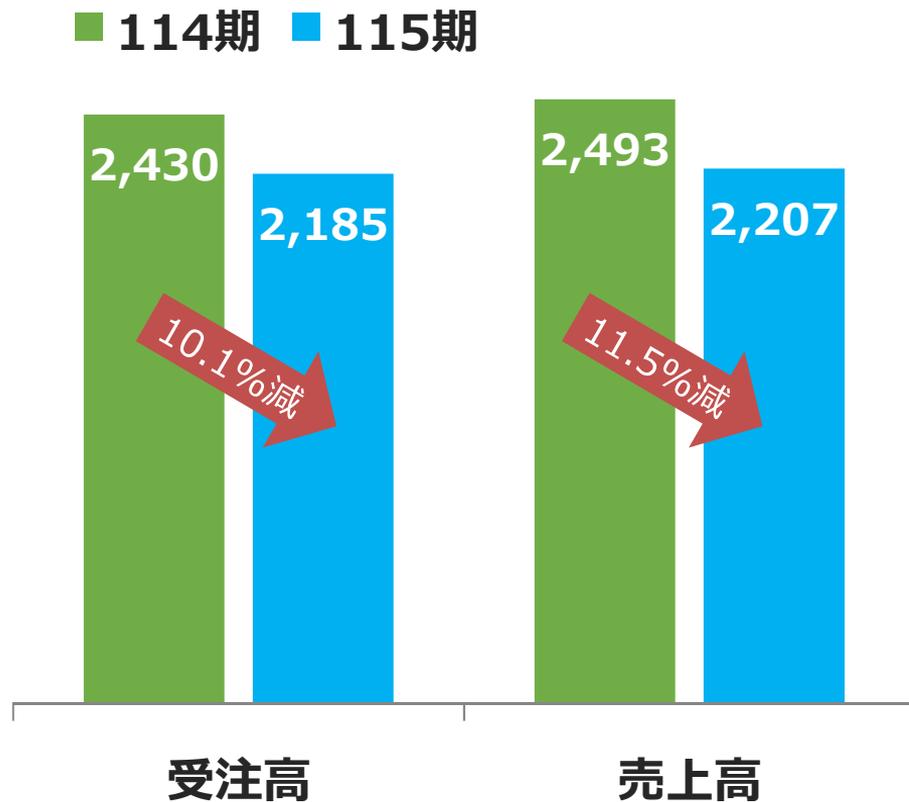
① 事業の経過及び成果 ～市場環境～

■ フラットパネルディスプレイ（FPD）業界

- テレビ用パネルの大型化、高精細化に伴う大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として継続しました。
- スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資は韓国での投資抑制はあるものの、他地域での設備投資は継続しました。

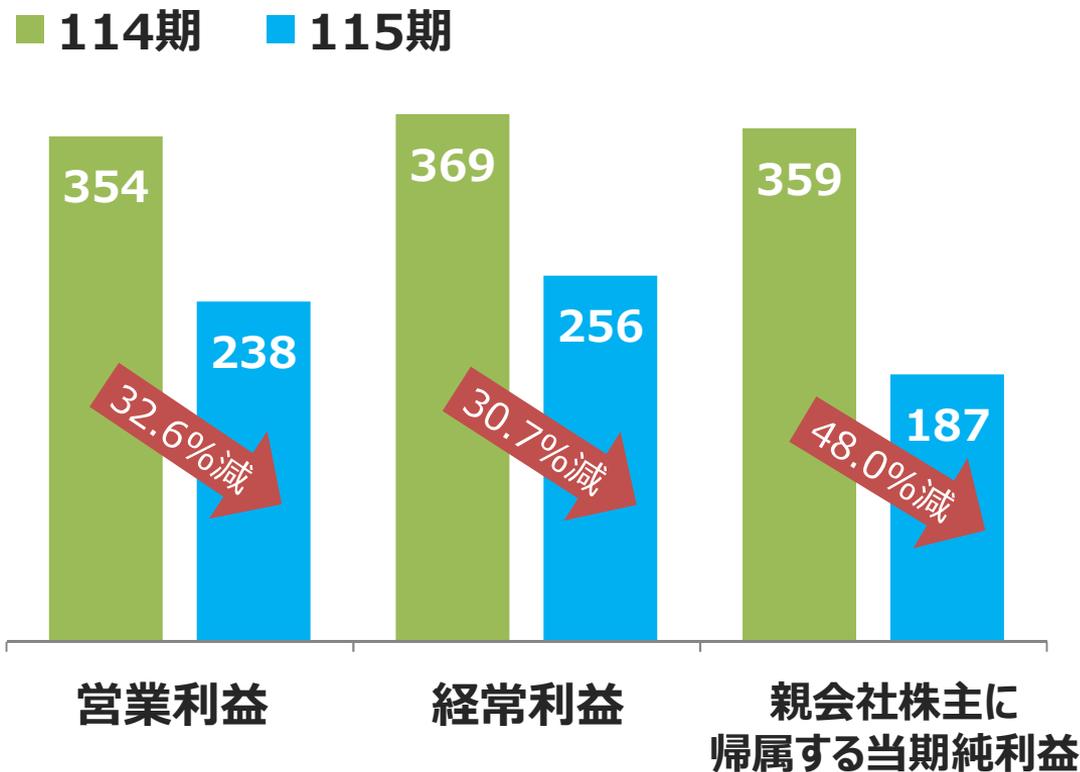
①事業の経過及び成果 ～第115期業績（連結）～

【単位：億円】



①事業の経過及び成果 ～第115期業績（連結）～

【単位：億円】



①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業（1）

招集ご通知24ページ

■ FPD及びPV製造装置

- FPD製造装置は、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け有機EL製造装置などの受注を計上しましたが、受注高、売上高ともに前年度を下回りました。



液晶ディスプレイ製造装置
(スパッタリング装置)



有機EL製造装置
(真空蒸着装置)

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業 (2)

■ 半導体及び電子部品製造装置

- 半導体関連は、NANDフラッシュメモリやDRAM、次世代不揮発性メモリ向けスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置などが、足元のメモリ関連投資の減速を受け、受注高、売上高ともに前年度を下回りました。
- 電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイスやパワー半導体向け製造装置が堅調に推移しました。



半導体製造装置
(スパッタリング装置)



MEMSデバイス成膜装置
(スパッタリング装置)

ULVAC

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業 (3)

■ コンポーネント

- 有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプ、計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年度を上回りました。



ドライポンプ



クライオポンプ



ガス分析計

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業（4）

■ 一般産業用装置

- 自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に売上高は前年度並みとなりました。
- 受注高は中国における高機能磁石製造用投資の延期等もあり、前年度を下回りました。



自動車部品用真空熱処理炉



ヘリウムリークテスト装置
(漏れ検査装置)

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

事業セグメント別実績 (真空機器事業)

【単位：億円】

| 事業セグメント | 当期受注高 | | 当期売上高 | | 当期営業利益 | | 期末受注残高 | |
|---------|-------|---------|-------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) |
| 真空機器事業 | 1,851 | 88.3 | 1,877 | 86.6 | 208 | 64.2 | 902 | 95.8 |
| 真空応用事業 | 335 | 100.6 | 330 | 101.2 | 30 | 101.0 | 62 | 106.4 |
| 合計 | 2,185 | 89.9 | 2,207 | 88.5 | 238 | 67.4 | 964 | 96.4 |

【百万円単位で計算後、四捨五入】

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空応用事業（1）

招集ご通知25ページ

■ 材料

- 主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、韓国における装置稼働の低下等の影響を受け、受注高、売上高ともに前年度を下回りました。



液晶ディスプレイ用
スパッタリングターゲット材料



半導体用
スパッタリングターゲット材料

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空応用事業（2）

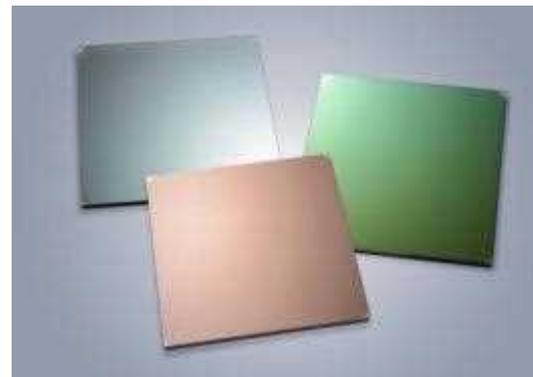
■ その他

➤ マスクブランクス関連

高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け堅調に推移しました。

➤ 表面分析機器関連

表面分析機器関連も寄与し、受注高、売上高ともに前年度を上回りました。



マスクブランクス

① 事業の経過及び成果 ～事業区分別～

事業セグメント別実績 (真空応用事業)

【単位：億円】

| 事業セグメント | 当期受注高 | | 当期売上高 | | 当期営業利益 | | 期末受注残高 | |
|---------|-------|---------|-------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) | | 前期比 (%) |
| 真空機器事業 | 1,851 | 88.3 | 1,877 | 86.6 | 208 | 64.2 | 902 | 95.8 |
| 真空応用事業 | 335 | 100.6 | 330 | 101.2 | 30 | 101.0 | 62 | 106.4 |
| 合計 | 2,185 | 89.9 | 2,207 | 88.5 | 238 | 67.4 | 964 | 96.4 |

【百万円単位で計算後、四捨五入】

②設備投資の状況（主なもの）

招集ご通知26ページ

設備投資の総額：128億円

真空機器事業：104億円

真空応用事業：24億円

真空機器事業の主な設備投資の内容

半導体及び電子部品製造装置事業、
FPD及びPV製造装置事業の
評価用機械装置や研究開発用機械装置等

③ 資金調達の状況

■ 資金調達

当連結会計年度は、新株式の発行等による資金調達は行っておりません。

■ 借入金

総額 356億円

(前連結会計年度末比1億円減少)

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況（連結）

招集ご通知27ページ

■ 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(3) 重要な子会社等の状況

(4) 対処すべき課題

後ほど、ご報告致します。

- (5) 主要な事業内容**
- (6) 主要な営業所及び工場**
- (7) 使用人の状況**
- (8) 主要な借入先の状況**

2. 会社の現況

- (1) 株式の状況
- (2) 新株予約権等の状況
- (3) 会社役員者の状況
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制
及び当該体制の運用状況

第115期 連結計算書類及び 計算書類の内容のご報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

連結計算書類

招集ご通知**50~52ページ**をご覧ください。

計算書類（当社単体）

招集ご通知**53~55ページ**をご覧ください。

連結計算書類

【単位：億円】

| | 第114期 | 第115期 | 増減 |
|----------|-------|-------|-------|
| 流動資産 | 1,920 | 1,820 | △ 101 |
| 固定資産 | 1,054 | 1,003 | △ 51 |
| 有形固定資産 | 643 | 657 | 14 |
| 無形固定資産 | 35 | 34 | △ 0 |
| 投資その他の資産 | 376 | 312 | △ 64 |
| 資産合計 | 2,974 | 2,823 | △ 151 |



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

資産の部：主要な変動要因

- ◆投資有価証券 : 118億円減少
- ◆受取手形及び売掛金 : 100億円減少
- ◆繰延税金資産 : 29億円増加

連結計算書類 ～連結貸借対照表（負債・純資産の部）～

【単位：億円】

| | 第114期 | 第115期 | 増減 |
|---------|-------|-------|-------|
| 負債合計 | 1,433 | 1,247 | △ 186 |
| 流動負債 | 1,188 | 945 | △ 243 |
| 固定負債 | 245 | 302 | 57 |
| 純資産合計 | 1,541 | 1,576 | 35 |
| 負債純資産合計 | 2,974 | 2,823 | △ 151 |

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

負債の部：主要な変動要因

- ◆ 支払手形及び買掛金 : 148億円減少
- ◆ 短期借入金 : 66億円減少
- ◆ 長期借入金 : 65億円増加

純資産の部：主要な変動要因

- ◆ 利益剰余金 : 137億円増加
- ◆ その他の包括利益累計額 : 104億円減少

【単位：億円】

| | 第114期 | 第115期 | 増 減 |
|-------------------------|-------|-------|------|
| 売上高 | 2,493 | 2,207 | ▲286 |
| 営業利益 | 354 | 238 | ▲115 |
| 経常利益 | 369 | 256 | ▲113 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 359 | 187 | ▲172 |

連結株主資本等変動計算書 について

計算書類（当社単体）

計算書類（当社単体） ～貸借対照表～

招集ご通知53ページ

【単位：億円】

| | 第114期 | 第115期 | 増減 |
|----------------|--------------|--------------|-------------|
| （資産の部） | | | |
| 流動資産 | 1,219 | 1,196 | △ 23 |
| 固定資産 | 911 | 834 | △ 76 |
| 資産合計 | 2,130 | 2,030 | △ 99 |
| （負債の部） | | | |
| 流動負債 | 932 | 775 | △ 157 |
| 固定負債 | 147 | 213 | 65 |
| 負債合計 | 1,079 | 988 | △ 91 |
| （純資産の部） | | | |
| 株主資本 | 901 | 976 | 75 |
| 評価・換算差額等 | 149 | 66 | △ 83 |
| 純資産合計 | 1,050 | 1,042 | △ 8 |
| 負債純資産合計 | 2,130 | 2,030 | △ 99 |



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

【単位：億円】

| | 第114期 | 第115期 | 増 減 |
|-------|-------|-------|------|
| 売上高 | 1,484 | 1,195 | ▲290 |
| 営業利益 | 189 | 76 | ▲112 |
| 経常利益 | 240 | 139 | ▲101 |
| 当期純利益 | 297 | 122 | ▲175 |

株主資本等変動計算書 について

(4) 対処すべき課題

(4) 対処すべき課題

<施策方針>

① 人財の育成

- 社員一人ひとりが健康であり、自主性、積極性と情熱をもって果敢に挑戦できる企業文化の構築及び教育体系の拡充
- グローバルな人財登用と次世代経営幹部候補者の育成
- 社員の能力を最大限引き出すためのより公正な能力評価のための改善

(4) 対処すべき課題

<施策方針>

② 技術革新に伴って拡大する市場への対応

- 新市場、新技術に対応するための、グローバルな戦略的マーケティング機能の強化
- 新市場、新技術に関する多様な企業や研究所等とのビジネスパートナーシップの拡大
- 継続的に独創的な技術や商品の開発を実現するための体制の再構築

(4) 対処すべき課題

<施策方針>

③ 生産性の更なる向上

- 経営効率の更なる向上のために、グループ経営資源を効率的に利用するための体制の再構築
- グローバルなサプライチェーン体制の強化及び、モノづくり力向上によるコスト競争力強化
- 業務プロセスに積極的にITを利用推進していくことに伴う業務の効率化

**株主の皆様におかれましては、
より一層のご理解とご支援を賜りたく
お願い申し上げます。**

議案の上程

第1号議案 剰余金の処分の件

招集ご通知7ページ

■ 配当基本方針

- 株主の皆様への利益配分を最も重要な政策の一つと認識しております。
- 当社は、顧客の設備投資動向が著しく変動し、かつ、技術革新の激しい業界にあり、研究開発投資や財務基盤の強化が、更なる企業価値の向上のために必要と考えており、内部留保を充実させることは、非常に重要と認識しております。
- 株主の皆様への利益配当につきましては、財務基盤の状況や各年度の連結業績、及び配当性向等を総合的に勘案して実施することを基本方針としております。

<決議事項>

第1号議案 剰余金の処分の件

■ 期末配当

前期に比べ10円増配、

1株につき金105円といたしたく存じます。

<決議事項>

第2号議案 取締役9名選任の件 [取締役候補者]

招集ご通知8～18ページ

いわした せつ お
岩下 節生

み はやし あきら
御林 彰

社外取締役

もとよし みつる
本吉 光

うちだ のり お
内田 憲男

社外取締役

独立役員

まつだい まさ すけ
末代 政輔

いしだ こう ぞう
石田 耕三

社外取締役

独立役員

ペク チョン ヨル
白 忠烈

なか じま よし み
中島 好美

社外取締役

独立役員

あおき さだ お
青木 貞男

◆指名報酬等委員会への諮問手続きを経ております。

<決議事項>

第3号議案 監査役2名選任の件 [監査役候補者]

招集ご通知19～20ページ

い とう

伊藤

まこと

誠

あさ だ

浅田

せん しゅう

千秋

社外監査役

独立役員

◆監査役会の同意を得ております。

<決議事項>

第4号議案 補欠監査役1名選任の件 [補欠監査役候補者]

招集ご通知21~22ページ

の なか たか お

野中 孝男

補欠社外監査役

独立役員

◆監査役会の同意を得ております。

報告事項、決議事項の 質疑応答

「一問一答方式」
でお願いいたします

決議事項の議案の採決

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

決議事項の議案の採決

第1号議案 剰余金の処分の件

■ 期末配当

前期に比べ10円増配、

1株につき金105円といたしたく存じます。

第2号議案 取締役9名選任の件 [取締役候補者]

招集ご通知8～18ページ

いわした せつ お
岩下 節生

み はやし あきら
御林 彰

社外取締役

もとよし みつる
本吉 光

うちだ のり お
内田 憲男

社外取締役

独立役員

まつだい まさ すけ
末代 政輔

いしだ こう ぞう
石田 耕三

社外取締役

独立役員

ペク チョン ヨル
白 忠烈

なか じま よし み
中島 好美

社外取締役

独立役員

あおき さだ お
青木 貞男

◆指名報酬等委員会への諮問手続きを経ております。

決議事項の議案の採決

第3号議案 監査役2名選任の件 [監査役候補者]

招集ご通知19～20ページ

い とう

伊藤

まこと

誠

あさ だ

浅田

せん しゅう

千秋

社外監査役

独立役員

◆監査役会の同意を得ております。

決議事項の議案の採決

第4号議案 補欠監査役1名選任の件 [補欠監査役候補者]

招集ご通知21~22ページ

の なか たか お

野中 孝男

補欠社外監査役

独立役員

◆監査役会の同意を得ております。

本日は、誠に ありがとうございました。

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。